

人間ドック・健康診断での検査結果の見方について②

検査項目		基準値(参考値)		備考
表示	項目名	数値	単位	(検査の意味)
炎症	白血球数	3100-8400	/ μ l	白血球は、外部から進入した病原体を攻撃する細胞で、高い数値は感染症や白血病、がんなどが疑われます。外傷がある場合や喫煙、ストレス、風邪などでも上昇します。
貧血	赤血球数	男性 400-539 女性 360-489	万/ μ l	血液中の赤血球数を調べ、数値が低いと貧血が疑われます。月経出血の増加や、鉄分が不足している場合も低値になることがあります。
	血色素量	男性 13.1-16.3 女性 12.1-14.5	g/dL	赤血球の成分のひとつで、主に血液中の酸素を運搬する役割を果たしています。
	ヘマトクリット	男性 38.5-48.9 女性 35.5-43.9	%	血液中の赤血球の容積の割合(%)を表し、低い場合は貧血の疑いがあります。
	血小板	14.5-32.9	万/ μ l	血液を凝固させる働きをしています。この値が極端に減少すると出血しやすくなります。
腎機能	尿素窒素	8.0-20.0	mg/dL	尿素窒素は、体内で使われた蛋白質の燃えカスで、腎臓から尿中へ排泄されます。
	クレアチニン	男性 1.0以下 女性 0.7以下	mg/dL	クレアチニンは、体の中でできた老廃物で、腎臓から尿中へ排泄されます。
	e-GFR $\boxtimes$	60以上	mL/分 /1.73m ²	腎臓の機能を示す指標で、クレアチニン値と性別年齢から推算します。腎臓機能を調べる検査です。
尿酸	尿酸	2.1-7.0	mg/dL	尿酸は体内でプリン体からつくられた老廃物で、高尿酸が続くと腎機能低下や痛風になったりします。
血清蛋白	総蛋白	6.5-7.9	g/dL	肝臓や腎臓機能の障害で変動し、栄養状態も反映します。
	アルブミン	3.9以上	g/dL	肝臓で作られる蛋白質で、栄養状態も反映します。
	A/G比	1.1-2.3		異常値は通常低下し、肝臓機能、腎臓機能の障害などの目安にします。
肝機能	総ビリルビン	0.2-1.2	mg/dL	黄疸のときに高くなり、原因が分類できます。
	AST (GOT) ALT (GPT)	30以下	U/L	GOTとGPTは、ともに肝臓に多く含まれる酵素で、肝細胞が破壊されると血液中に漏れ、数値は高くなります。肝炎や脂肪肝、肝臓がんなど、主に肝臓病を発見する手がかりとなります。
	γ -GTP	50以下	U/L	アルコール性肝臓障害に敏感に反応し上昇します。
	LDH	124-222	U/L	肝臓や心臓、血液細胞などに異常があると高くなることが多いです。
	ALP	38-113	U/L	肝臓や胆道、骨の疾患、小児も高値を示します。